

一般質問発言通告書

発言順位	6 番
------	-----

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和7年9月5日

三島市議会議員 堀江 和雄 様

三島市議会議員 8 番 弓場 重明

質問事項1	『市長、本当に市庁舎、南二日町で良いのですか』第3弾について
具体的内容	前回まで、南二日町広場が市庁舎新築移転先として適地では無いのではとして下記内容にて質問した。 <ul style="list-style-type: none">・最大予測震度6強で液状化(PL値5以上)の被害想定も予測される軟弱地盤であること。・大場川は暴れ川、河岸浸食(家屋倒壊等氾濫想定区域)溢水、越水の可能性があること。・アンケートの内容、調査方法、結果と南二日町への移転に故意に誘導した疑問があること。・南二日町への移転新築事業費と周辺のインフラ整備費は概算で約200億円となること。・借地を返還しなければ70年間に延べ約15億円の借地代を支払い、その後も市の所有にならないこと。 以上、主な5つの点で、南二日町移転については反対の立場で議場で質問させて頂いた。今回は、北田町(現在地)で建て替えた場合、当局が危惧しているほど難しい敷地ではない理由を示し、現在地が建設用地として十分可能であるとの見解を示せばとの思いで質問する。
1	三島市にとって、駅前再開発工事の槌音が響く三島駅周辺、三島広小路駅周辺、そして三嶋大社周辺を結ぶエリア内は、Waterトライアングル(三島の街を形作る水のデルタ地帯)だと考えられる。その要となっているのが市庁舎。それが街外れに移転するとなると、中心市街地の人通りが減り、街並みが寂れ、活性化が損なわれ、商店街の空洞化が起こるのではと考えるが見解を伺う。
2	三島市の人口が2050年には82,914人になり、今以上に来庁者の減少が予想される。また、IT関連の技術・設備、それら機器の進化は日進月歩、建物は60年以上維持できても関連設備機器が持たない。建物の改修もさることながら特に設備にはコストがかかる。現在地に30年程度利活用できる市庁舎を建設し、30年後には規模を縮小して建て替える方がコストパフォーマンスが良いのではないか。その点について伺う。
3	三島市街地の賑わいや活性化に、今まで多くの予算が計上され、執行され消えていった。費用対効果を考えると十分な成果があったかは甚だ疑問な事業も多々あった。そんな状況を改善せずして、今度は、市庁舎及び関連施設が移転した跡地を活性化の為に再利用するとの計画があるという。今までできなかった活性化が跡地利用できるのか。基本的な成算とそれに伴う計画について伺う。
4	『市役所の駐車場は、いつ行っても満杯で駐車するのに大変苦労する』と10年前の感覚(年に数回の来庁者)で言われる方々が多い。最近、市役所周辺にミニポケット駐車場が増えた。1時間程度の無料券を発行すれば年に数回ある混雑も回避する事ができる。現在でも可能。その点について伺う。
5	北田町(現在地)で建て替えた場合、当局が言うほど難しい工事ではない。道路斜線を活用し、正面駐車場に建設、既存庁舎を活用しつつ工事もできる。可能性があるならば、北田町での建設、変更はまだ間に合うのではないか。改めてもう一度、専門家と検討する必要があると考えるが見解を伺う。
6	総合計画の中で『37 ICTを活用したスマート自治体・スマート市役所』『30 集約型都市構造(コンパクトシティ)』や『29 安全な道路の維持管理』を標榜している三島市。長期的かつ広域的な視野にたった戦略を模索し、三島の未来図を、再構築する必要があると考える。改めて伺う。